

1. 題材設定の理由

2学期には、運動会など大きな行事が多く行われ、それに合わせて学級の凝集度が高まってきた。一人一人の児童も、こうした学習活動を通して、さまざまな「生きる力」を身につけてきたであろう。

この時期に、2学期の自己や学級の成長の跡を確かめ、互いにその成長を認め合うことは、協調的な雰囲気をもつ学級づくりに不可欠な部分である。そして、まもなく迎える小学校における最後の学期もこの仲間と共に、精一杯やりきろうとする決意をもたせていきたい。

2. 指導のねらい

2学期全体を振り返り、自分のがんばりや仲間のがんばり（2学期の宝物）をお互いにたたえ合うことを通して、小学校で最後の学期を迎えるにあたっての心構えをもつことができる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・帰りの会で、グループの仲間が2学期にどんな部分でがんばっていたのかが答えられるよう提案しておく。
本時	・自分や仲間の「2学期の宝物」を互いにたたえ合うことで、3学期を迎えるにあたっての心構えをもつ。
事後	・冬休みのくらしで、3学期の決意を確かなものにする。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・1学期の姿と比べながら、2学期に成長した部分を自分なりに明らかにすることができる。	◎6-6「1学期の宝物」で書いた「生活のダイヤモンド」「学習のダイヤモンド」の点数を記入する。 ◎1学期のものとは比べながら、2学期の自分の姿を振り返り、1学期同様に点数をつける。	・具体的な場面から思い起こさせるようにする。学級の足跡として、掲示物などがあるれば、それらを用いて話をすると答えやすい。	1学期末に行った6-6「1学期の宝物」(p42) ノート①
課題：2学期を振り返り、自分や仲間のがんばりをたたえ合おう。				
中心的活动	・2学期に成長した部分を自分、生活班、学級全体と範囲を広めて考えることを通して、互いに力を合わせて高まってきたことが実感できる。	◎表をもとにしながら、特に2学期自分なりに「このことはがんばれた」といえるものを書き出す。 <例> ・1学期に比べて、班の仲間と教え合いながら、挙手回数が増やすことができた。 ◎班や学級の仲間から認め言葉を別の紙に書いてもらい、下の欄に貼りつける。 <例> ・グループの中で、一番掃除をがんばっていたと思います。 **さんの姿を見て、わたしもがんばろうと思いました。 ◎自分の学級の中で、2学期に特にがんばっていたなあと思う人とその人のどんな部分をそう思うのかを記入する。	・がんばれたのはなぜなのかを考えさせたい。 ・生活班などの小グループでこの部分を考えさせる。 ・人権同和的な見地から、特に配慮を要する記述をしている児童に対しては、机間指導を通して、その場で気づかせていく。 ・この部分では、リーダー的な活躍をした児童ばかりでなく、細やかな部分にまで目を向けるよう配慮し、「協調的な雰囲気をもつ学級」を実感させたい。	ノート② ・学級通信 ・日記 ・掲示物 ・写真 ・励ましの言葉を記入する用紙 ノート③ ノート④
まとめ	・小学校最後の学期を迎えるにあたり、新たな心構えをもつことができる。	◎自分の成長の跡や仲間からの言葉（宝物）を通して、小学校最後の学期を迎える心構えをまとめよう。	・自分や仲間のがんばり（2学期の宝物）をお互いにたたえ合うことを通して、新たな決意をもつことができたかを評価する。	ノート⑤